



「交通広告グランプリ 2009」各賞が決定！

～ グランプリは(株)ショウゲートの『私がクマにキレた理由』～

「交通広告グランプリ 2009」(主催:株)ジェイアール東日本企画、協賛:東日本旅客鉄道(株)、(株)東京メディア・サービス、後援:(株)全国鉄道広告振興協会)の受賞作品が決まりました。

最高賞であるグランプリは、株式会社ショウゲートの『私がクマにキレた理由』が受賞いたしました。

各部門の最優秀部門賞は、駅ポスター部門は大塚製薬株式会社の『肌には もっと 意味がある』、車内ポスター部門はJRグループの『ただひとつの夏物語をつくろう。山口の旅』、サインボード部門はパナソニック株式会社の『実証、ジェットダンシング洗浄。』、車体広告部門は台東区の『花見』、企画部門はグーグル株式会社の『Googleで、できること。』、JR東日本賞はヤマト運輸株式会社の『宅配は、ネコである。』が受賞いたしました。

【受賞作品数】 計 27 点

部 門	グランプリ	最優秀部門賞	優秀作品賞	JR東日本賞
駅ポスター部門	1 点	1 点	5 点	1 点
車内ポスター部門		1 点	5 点	
サインボード部門		1 点	5 点	
車体広告部門		1 点	2 点	
企画部門		1 点	3 点	

【審査作品数】 計 1,450 点 (昨年は 1,400 点)

審査作品数は過去最多となる 1,450 点でした。前回に引き続き形状や素材を工夫した作品が多く見られる一方で、今回はコピーを活用した作品も目立ちました。また、メディア特性を活かした作品、空間を大きく利用した作品、交通広告とモバイルを連動させた企画など、交通広告の持つ可能性を実感する作品が数多く寄せられました。

【受賞作品展示】

下記の日程で一般の方々に広く受賞作品をお披露目いたします。

- ・8/2(日)～8/30(日) 東京駅丸の内地下通路「アートロード」にて受賞作品展を開催
- ・8/2(日)～8/16(日) 山手線 ADトレイン「交通広告グランプリ 2009 号」を運行

◆ 「交通広告グランプリ 2009」 受賞作品一覧 ◆

部門名	賞名	受賞クライアント名	受賞作品名
グランプリ		株式会社ショウゲート	私がクマにキレた理由
駅ポスター部門	最優秀部門賞	大塚製薬株式会社	肌には もっと 意味がある
	優秀作品賞	シャープ株式会社	「フェルメール」篇
		朝日新聞社	企業広告(明日への一頁に、つながっている。キャンペーン)
		株式会社角川グループ・パブリッシング	発見。角川文庫のミステリ
		全日本空輸株式会社	マツタリ～ナ ホッコリ～ナ OKINAWA
	江崎グリコ株式会社	OTONA GLICO「アーモンドプレミオ」/「バンホーテン[ディアカカオ]」	
車内ポスター部門	最優秀部門賞	JRグループ	ただひとつの夏物語をつくろう。山口の旅
	優秀作品賞	東日本旅客鉄道株式会社	JR東日本 生活サービス事業 シリーズ広告
		サントリーホールディングス株式会社	黒烏龍茶 シリーズ広告
		東日本旅客鉄道株式会社	JR SKI SKI 降雪告知
		ダイキン工業株式会社	ドア上企業広告シリーズ
	株式会社コナカ	KONAKA THE FLAG OPEN 告知広告	
サインボード部門	最優秀部門賞	パナソニック株式会社	実証、ジェットダンシング洗浄。
	優秀作品賞	学校法人服部学園	OCHABI 学校案内広告
		ラフォーレ原宿	You have a 'good' eye for fashion
		朝日新聞社	巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡/魂のポートレート
		松竹株式会社	人生に寅さんを。
	株式会社ルミネ	春トレンド「STYLE JAM」	
車体広告部門	最優秀部門賞	台東区	「花見」
	優秀作品賞	芝浦工業大学	ひとあじ、違うぜ。
		赤城乳業株式会社	ガリガリ君の夏休み 2008
企画部門	最優秀部門賞	グーグル株式会社	Googleで、できること。
	優秀作品賞	サントリーホールディングス株式会社	ペプシネックス ボトル立体中づり/ボトルスイングまど上
		独立行政法人日本スポーツ振興センター	スポーツ振興くじtoto事業理念PR
	日本ヒューレット・パッカード株式会社	HP Mini 1000 Vivienne Tam Edition 発売記念 ダブルハピネス・キャンペーン告知鏡面広告	
JR東日本賞		ヤマト運輸株式会社	宅配は、ネコである。

URL : <http://www.jeki.co.jp/transit/grandprix/>

◆「交通広告グランプリ 2009」概要◆

主催：株式会社ジェイアール東日本企画

協賛：東日本旅客鉄道株式会社、株式会社東京メディア・サービス

後援：社団法人全国鉄道広告振興協会

【応募対象】

2008年4月から2009年3月までに、(株)ジェイアール東日本企画交通媒体本部が販売・管理を行っている駅および車両(「JR 東日本」「つくばエクスプレス」「りんかい線」「ゆりかもめ」および「JR 貨物」)に掲出された全ての交通広告作品

【応募カテゴリー】

- (1) 駅ポスター部門
- (2) 車内ポスター部門
- (3) サインボード部門
- (4) 車体広告部門
- (5) 企画部門

【応募資格】

上記【応募対象】にご出稿いただいた広告主・広告会社・制作会社および制作者様

【審査日 / 会場】

2009年5月25日 / 東京都立産業貿易センター(浜松町館)

【審査員】

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 審査員長 | 仲畑 貴志 氏 (コピーライター) |
| 審査員 | 川口 清勝 氏 (アートディレクター) |
| 〃 | 十文字 美信 氏 (カメラマン) |
| 〃 | 副田 高行 氏 (アートディレクター) |
| 〃 | 田中 里沙 氏 (株)宣伝会議 取締役編集室長) |
| 〃 | 前田 知巳 氏 (コピーライター) |
| 〃 | 新井 良亮 氏 (東日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長 事業創造本部長) |

◆ 歴代のグランプリ受賞作品 ◆

- 1989年 サントリー株式会社、日産自動車株式会社、株式会社伊勢丹
1990年 特別区競馬組合、サントリー株式会社、株式会社丸井
1991年 特別区競馬組合、日本アルミニウム協会、東急ハンズ池袋店
1992年 ラフォーレ原宿、株式会社リクルート、株式会社エフエム東京
※1989年～1992年は各部門（駅ポスター部門・車内ポスター部門・サインボード部門）の最優秀賞
- 1993年 日本ペプシコーラ社『もっと、カロリーをとりたい方へ。』
1994年 東京ガス株式会社『ニッポン人には、風呂がある。』
1995年 ジレット ジャパン インコーポレイテッド『その人、パーカー。』
1996年 株式会社レナウン『J. CREW '96 SPRING&SUMMER』
1997年 本田技研工業株式会社『CIVIC Message』
1998年 株式会社ラフォーレ原宿『LAFORÉT <NUDE OR LAFORÉT>』
1999年 サントリー株式会社『のほほん茶 「世の中に、疲れたら。」』
2000年 シャープ株式会社『21世紀に、持ってゆくもの。』
2001年 株式会社宝島社『企業広告（ゴミ袋篇）』
2002年 日産自動車株式会社『new MARCH Debut 篇』
2003年 ビクターエンタテインメント株式会社『Drink! Snap!』
2004年 三井物産株式会社『8colors』
2005年 シャープ株式会社『AQUOS 家シリーズ』
2006年 森永乳業株式会社『Lipton 2005 summer』
2007年 ソフトバンクモバイル株式会社『PANTONE ケータイ』
2008年 株式会社日本放送出版協会『NHKテキスト「きょうの料理」放送 50年キャンペーン』

2009年 株式会社ショウゲート『私がクマにキレた理由』

◆ 「交通広告グランプリ」の経緯 ◆

「交通広告グランプリ」の原点は、1956年（昭和31年）から開催された「秀作車内ポスター展」まで遡ります。同展は東京近郊の国鉄・私鉄・都電に掲出された車内ポスターの中から選ばれた優秀作品が一堂に会する、当時としては大規模な広告展示会でした。「国鉄広告展」、新幹線の車内や駅を対象とした「新幹線広告展」が相次いでスタート。

それらを段階的に統合する形で、1989年（平成元年）、㈱ジェイアール東日本企画主催による「JR東日本ポスターグランプリ」が誕生。2006年（平成18年）より名称を「交通広告グランプリ」と変更し、JR東日本の他、つくばエクスプレス、りんかい線、ゆりかもめ、JR貨物に掲出された作品も審査の対象としました。